

二部地区活性化だより

野上川の風

●発行／

二部地区活性化推進機構
日野農業改良普及センター
溝口町 二部公民館



●福島橋より二部谷遠望

ふる里への思い

二部地区に生まれ

ここで育つ

ここで遊び ここで学ぶ

ここで働き ここで暮し

ここで年齢を重ねて

いずれ ここで生涯を閉じる

そして この土に返る

これは、これまで大多数の人が歩んだライフサイクルです。今は人それぞれが青山を求め、故郷を離れる者も多く、過疎の引き金にもなっています。

いぜん、都会志向も衰えてはいません。ここで私たち地域住民が、いまだ、郷土二部地区に思いを馳せて、優れた点を再確認し、改むべきは見直しながら、住みよい郷土づくりに取り組もうではありませんか。

そして、うすれ行く「ふるさ意思識」を呼び戻し、活力溢れる二部地区を再生したいものです。

歩み始めた皆んなの組織

二部地区活性化推進機構

今春四月、二部地区で発足した、活性化推進機構の概要は次の通りです。

組織の目的は

この会は、二部地区住民だれもが自由に参加できる任意団体です。住民相互の連帯と自主性を基本にして、地域の活性化と発展をはかり、民主的で明るい地域づくりを目的とします。

どんなことをやるか

一言で言えば、皆んなでやる「むらづくり活動」であり「じげこし」です。そしてこれまでの公民館活動と表裏一体の活動を目指します。町民運動会や、たたらまつりもその一環で取り組みます。また別表の通り六部会が分担して事業を行います。その具体的計画は、このたび実施する住民アンケートによる皆さんの意見集約を参考に樹立します。

会の組織と委員

この会の委員は六十三名で構成しますが、その中の凡そ半数（二十八名）は部落推薦の委員、残りは公職者及び各種団体の代表者となっています。組

織図と名簿は別表の通りです。

当面の取り組みは

活性化だよりの発行と同時に、二部地区全住民（中学生以上）を対象にアンケート調査を実施します。八月末配布、九月上旬回収を予定しています。何分のご協力をお願いします。

また十二月上旬頃には、住民の皆さんを対象に「元氣のぞく」啓発講演会の開催を計画しており、また委員の研修も逐次行います。

会の台所事情

この会の会計は規約では、会員からの会費及び助成金、寄附金等をもって充てることとしています。ところで日頃から指導を受けている日野農業改良普及センターから、この度温かい応援を頂くことになりました。二年継続の「山里担い手育成事業」の地区指定を受け、この会の活動経費をバックアップ願うことが決まっています。

会費徴収は今後の事業計画検討の折に、相談させて頂きます。

● 二部地区活性化推進機構組織図 ●

二部地区活性化推進機構

顧 問

関 係 機 関

三 役 会

会 長
副会長
事務局長
当該部会長

役 員 会

会 長
副会長
監 事
事務局長
部会長
副部会長
書記会計

委 員

部落推薦委員 28名
町議会議員 5名
農業委員 6名
JA役員 1名
教育委員 2名
児童民生委員代表 1名
森林組合役員 1名

総 会

63名
社協役員代表 1名
商工会役員代表 1名
保小中高保護者代表 4名
地域女性組織代表 3名
JA生産部代表 3名
青年代表 3名
老人クラブ代表 5名

部 会

1.総務部会
2.産業振興部会
3.住みよい環境部会
4.趣味と生きがい部会
5.健康スポーツ部会
6.福祉ボランティア部会

実践活動

会 員

● 役 員 名 簿 ●

会 長	住田 泰						
副 会 長	谷口包夫	白根暢之	安藤幹子				
監 事	和泉克司	南葉喜美子					
事 務 局 長	安達 允						
書 記 会 計	忠田寿子						
部 会 長	田辺公教	井桁太正	浦部要右	八橋昭夫	大森英一	中田寿国	
副 部 会 長	畑 嘉夫	田村 清	沢田恭輔	安藤正治	杉原千鶴子	其山守美	山口代子

● 部 会 別 委 員 分 担 表 ●

◎ 部 会 長 ○ 副 部 会 長

部 会 名	委 員 氏 名
総 務	◎田辺公教 ○畑 嘉夫 畑中幸雄 安達良文 神庭賢暁 樋口春子 松原伴芳 花田敏子 山口真澄子
産 業 振 興	◎井桁太正 ○田村 清 杉原弘徳 南葉正明 天場正実 森 治夫 細田朋子 影山照美 三島 透
住 み よ い 環 境	◎浦部要右 ○沢田恭輔 ○安藤正治 杉原良子 南波康彦 泉原清美 伊達 譲 山本芳史 中田 貢 大森正人
趣 味 と 生 き が い	◎八橋昭夫 ○杉原千鶴子 西村寅夫 仲田秀子 和田正純 野口由枝 森谷直之 影山昌寿 奥田みさ子
健 康 ス ポ ー ツ	◎大森英一 ○其山守美 田辺 泉 永井欣也 岡村直美 浅田泰弘 山本さつき 高橋 縁 門田靖弘 影山 靖
福 祉 ボ ラ ン テ ィ ア	◎中田寿国 ○山口代子 池本長昭 住田多枝 山下里心 藤田常雄 舟越一文 福山和典 樋口幸恵 永井美恵子

住民運動の発足に当たって

● 会 長 住 田 泰

いま国では行政改革の必要性が叫ばれ、小さな政府、行政のスリム化に向けた改革が進められようとしています。そして大幅な権限を地方に譲る地方分権によって、地方の時代を迎えることとなります。しかし地方自治体の台所も楽ではないし、必然的に、かつての大判振る舞いを行政に期待することがむずかしいことになります。

そこで、お上任せの行政依存を改め、住民自らがいっしょになって、話し合い知恵を出し合って、身近な改革や村づくりに取り組む、それがこれからの私達の役目だと思います。

もちろん大型事業に要する行政からの助成は必要ですが、その受け入れの土台や受け皿づくりもまた、この会の目標です。

それらの活動を通じて、地域の皆さんの連帯意識がたかまれば幸いです。

各 部 会 長 からのメッセージ

● 総務部会長 田邊 公教

この度、二部地区活性化推進機構が発足することになりました。

過疎化、高齢化、少子化と課題山積の二部地区を、活力ある住みよい、若者が定住できる地区をつくるための、組織がやっとなりました。

これからは、この組織を通じて、皆

さんのいろいろな意見を聞きながら、二部地区に住んでいて良かったと言える地域づくりに、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

かつて、日野郡の中心地であった二部地区を、再び他の地域から注目されるような二部地区にしたいものです。

そのためには、地区全体でお互いに協力しあい、良く話し合いながら物事をすすめることが、大切であると思います。

この組織の目的達成に向けて、二部地区の皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。

● 産業振興部会長 井桁 太正

この度の設立総会において、産業振興部会長をおおせつかりました。

もとよりそのような才能はございませんが、地域発展のために頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。

産業部会の活動内容は、農林業、商工業の振興、特産物の育成、直売所運営、観光産業等、新起業の研究などが発足時のテーマとしてあげられておりますが、二部地区の基幹産業である農林業のさらなる発展を進めなくてはなりません。六月二五日に初部会を開き今後の取り組み等について相談しましたが、具体的な活動計画は別途実施されるアンケートの集計結果を踏まえて再度相談したいと考えております。

今後、皆さんのご意見等お寄せ下さいますようお願い致します。

●住みよい環境部会長 浦部 要右

この度二部地区活性化推進機構の発足に伴い、第一回の部会を開き今後の活動等を協議いたしました。

重点課題の二部地区簡易水道未整備地域には、健康で快適な生活を営むには、すべての住民が水道の恩恵を享受し、将来にわたり水道水を安定的に供給することが求められています。

町では水道の整備促進を図るため、二部地区県営中山間地域総合整備事業を導入するため、計画策定が進められています。新事業は高率補助で、受益者負担が軽減される有利な事業です。この事業を積極的に推進し、簡易水道の整備に取り組んでまいりたいと思います。

下水道整備については、農業集落排水事業と並行して、合併処理浄化槽を地域の実情に即して計画的に整備促進を図ることが今後の検討課題であります。

●二部地区の活性化推進機構の活動に期待します

日野農業改良普及センター
所長 安藤 一嘉

二部地区の皆様には日頃、普及事業の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業・農村を取りまく情勢は、国際化が進むなかで、きびしい状況にあります。

このような状況のなか、普及センターは、農業の担い手、地域農業のまとめ役となる人材の育成、支援を基本的な課題として取り組んでいます。

最近では、物を作る尊さ、むらを守る意

●趣味と生きがい部会長 八橋 昭夫

この度、活性化推進機構の発足に当たり、不肖私が趣味と生きがい部会の部会長に選任されました。もとより浅学非才でその任にあらずとの思いであります。役員をはじめ二部地区の皆様方のご指導とご鞭撻をいただき、本部会目的達成のために重責を果たしたいと存じますので、宜しくお願い申し上げます。

事業内容につきましては、同好会活動、生涯学習の実践、ふるさととの歴史研究、文化振興、多々楽学園等、幅広い分野ですが、多数の方の参加をお願いいたします。

●健康スポーツ部会長 大森 英一

部会長を拝命致しました。大森英一です。若輩ではありますが、体力に任せて頑張りたいと思います。

ご周知の通り、高齢化社会、車社会ということで、年齢を問わず運動不足から

欲等が衰退気味であります。

このような中であつて二部地区の皆様におかれましては、地域をどう活性化していくか、いちちはやく立ち上がられたことに、敬意を表する次第です。

普及センターも、皆様と一緒に知恵を出し合い「住みよく誇りのもてるふるさと二部地区づくり」実現のため、一生懸命支援させていただきます。

くる体力低下が問題になっております。一つの例として病気の問題があります。

これだけ医学が発達したにもかかわらず病気を抱く人が、減るどころか増えていきます。その原因として、種々言われておりますが、基本的には体力低下が第一だと思います。

健康であれば、いうまでもなく医療費がかかりませんし、何よりも家庭が明るくなります。ひいては、地域の活性化につながるものだと信じます。

そうした意味で、二部地区が手本となるような、健康な町づくりを目指します。

●福祉ボランティア部会長 中田 寿国

現代社会は、急速に少子、高齢化が進んでいます。私達の二部地区も同様です。地域住民が一体となり、互いに助けたり、助けられたりの各種ボランティア組織の育成、老人対策、青少年の健全育成など、失われつつある地域内のコミュニケーションを再構築し、組織化することが急務であると思います。

ボランティアとは、篤志奉仕者、民間奉仕者、福祉活動や社会をよくするために、自発的に無報酬で参加する人を指して言います。これまでボランティアの言葉に馴染まなかった私でしたが、阪神大震災や重油流出事故などの復旧で活躍されたボランティアの人々には感動しました。町の社会福祉協議会とも連携しながら、小地域なりの活動を計画したいと思っております。皆様方の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

活動日誌メモ

(月・日) (内容)

- 三 三一 推進機構結成準備会
- 四 一八 同設立総会(規約承認、役員選任、講演会)
- 五 二八 三役会(今後の事業推進について)
- 六 二〇 第一回役員会(右に同じ)
- 六 二五 産業振興部会(部会活動の協議)
- 六 三〇 趣味と生きがい部会(右同)
- 七 一 健康スポーツ部会(右同)
- 七 五 福祉ボランティア部会(右同)
- 七 一二 総務部会(右同)
- 七 三〇 総務部会(会報とアンケートの検討)
- 八 一 住みよい環境部会(部会活動の協議)
- 八 二〇 三役会・総務部会、各部会長合同会議(会報、アンケート調査最終協議)

『よろしくお願ひします』

暑いと思っていた夏ですが、草花を見れば秋は目前でした。

このたび県の人事異動により溝口・江府町を担当させていただく事になりました。二部地区では自主的な地域活性化の活動にとりくまれています。普及センターも山里担い手育成事業を通じて支援させていただきます。

日野農業改良普及センター 森田 陽子